



令和2年11月11日	
所 属	文化振興担当
所属長	松長 昌男
電 話	06-6489-6385

A-Lab Exhibition Vol.26

「fの冒険 ～7人のアーティストによる平面表現の魅力～」を開催します！

1 趣旨

この度、あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ)では、「fの冒険 ～7人のアーティストによる平面表現の魅力～」展を開催します。

本展は平面というフィールドで、現在の新しい表現を発表し続けている若手作家に焦点をあてたグループ展です。子どもの頃から多くの人が体験している「絵を描く」こと。最も基本的な美術表現のひとつといえるかもしれません。今回紹介する7人の作家はテーマも技法も素材も様々な方法で描いています。描くこととはなにか、表現することとはなにかということを“絵画”という概念にとどまらないものとして楽しんでいただければと思っています。

「fの冒険」の「f」に、flatな媒体を通じた、figure、freedom、fine、find、feel、fact、fun、future、fantasy、friendlyなど様々なfの要素を発見し、平面の多彩な表現を感じてください。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、別紙1のとおり対策を行い展覧会を開催します。ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

2 概要

会 期：令和2年12月19日(土)から令和3年2月7日(日)

会 場：あまらぶアートラボ「A-Lab」(尼崎市西長洲町2-33-1) 入場料：無料

時 間：(平日) 午前11時～午後7時 (土・日・祝) 午前10時～午後6時

※休館日：火曜日・12月30日・12月31日

出展者：大八木夏生、國久真有、鈴木恵美、住吉明子、牧田愛、本山ゆかり
薬師川千晴

問合せ：尼崎市文化振興担当 (土日除く午前8時45分から午後5時30分)

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6793

主 催：尼崎市

協 力：ベイ・コミュニケーションズ、TEZUKAYAMA GALLERY、The Third Gallery Aya、
Yutaka Kikutake Gallery

3 関連イベント

(1) トークイベント

令和3年1月16日(土)午後3時～5時、伊丹市立美術館の学芸員 藤巻和恵さんをゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催します。申込必要。定員15名。

※申込方法：12月5日(土)よりA-Labのメールで受付。

下記メールアドレスまで氏名・年齢・電話番号・人数を明記ください。

amalove.a.lab@gmail.com

(2) ライブ・ドローイング

会期中、國久真有さんが会場でライブ・ドローイングを行います。日程はA-Labのホームページ、フェイスブックなどでお知らせします。

4 作家略歴

別紙2参照

以 上

あまらぶアトラボ（A-Lab）における新型コロナウイルス感染症拡大防止策

【来場者へのお願い】

来場者へのお願いとして以下の内容を掲示します。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ・咳・咽頭痛などの症状や 37.5 度以上の熱がある方、帰国後 2 週間以内の方の入場はご遠慮ください。
- ・エレベーターの使用は移動に制約のある方のみ使用していただくようお願いいたします。
- ・場内では間隔を広げてご鑑賞ください。
- ・鑑賞中に大きな声での会話はご遠慮ください。
- ・基本的に作品にはお手を触れないでください。直接手で触れることができる展示物は設置している手袋の着用をお願いします。
- ・資料、図書を閲覧する際は手袋の着用をお願いします。
- ・ご来場の際に、ご連絡先などをお伺いさせていただきます。
- ・サーモグラフィーを設置するとともに、来館者に対して検温を実施させていただく場合があります。また、一定値以上の発熱がある場合は入場をお断りする場合があります。
- ・スタッフはマスクを着用して対応させていただきます。
- ・基本的に荷物のお預かりができません。大きなお荷物はスタッフにご相談ください。

【接触・飛沫感染防止対策】

(入口)

- 1 入口に消毒液を設置します。

(受付)

- 2 受付で兵庫県新型コロナウイルス追跡システムに登録できるようにする他、来場者の連絡先を記載してもらう用紙を設置し、感染が確認された際に連絡を取れるようにします。
- 3 場内では間隔を広げてご覧いただくようお声掛けするとともに、フロアマーカを設置します。
- 4 配布物は手渡しで配布せず据置き方式とします。
- 5 受付に飛沫感染防止のためシールドを設置します。
- 6 サーモグラフィーを設置して来場者の体温を確認するとともに、必要に応じて来場者の検温するため、非接触型の温度計を設置します。

(ロビー等)

- 7 配布するチラシは見本を掲示し、希望者に個別にお渡しします。
- 8 連絡先の記載やアンケート記入に使用した鉛筆はお持ち帰りいただきます。
- 9 ポートフォリオ、図書コーナーの本の閲覧時に使用する使い捨ての手袋を設置します。

(展示室)

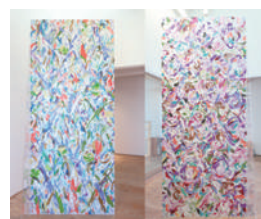
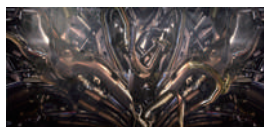
- 10 直接手で触れることができる展示物を鑑賞するための使い捨ての手袋を設置します。
- 11 展示室内は常時換気していますが、可能な限り展示室のドアや窓を開けて換気を行います。展示上、ドア、窓を開ける事ができない部屋は 30 分に一回程度、展示室の換気を行います。

(その他)

- 12 手すり、ドアノブ、エレベーターのボタン、テーブルなどを適宜殺菌消毒します。
- 13 トイレの洗面に使い捨てペーパーを設置します。

【スタッフの健康管理】

- 1 毎日スタッフの検温を行います。
- 2 スタッフはマスクを着用し、手洗い・手指の消毒を徹底して実施します。
- 3 来場者への資料の配布、荷物の対応等の場合、手袋を着用します。



—7人のアーティストによる平面表現の魅力—

大八木夏生
國久真有
鈴木恵美
住吉明子
牧田愛
本山ゆかり
薬師川千晴

2020 2021
12/19 sat — 2/7 sun

fの冒険

A-Lab
あまらぶ アートラボ

会 期	2020年12月19日(土)~2021年2月7日(日)
開館時間	(平日) 午前11時~午後7時 (土・日・祝日) 午前10時~午後6時
会 場	あまらぶアートラボ「A-Lab (えーらぼ)」 尼崎市西長洲町 2-33-1
休 館 日	火曜日・12月30日、12月31日
入 場 料	無料
主 催	尼崎市
協 力	Baycom、TEZUKAYAMA GALLERY、The Third Gallery Aya、Yutaka Kikutake Gallery

開催要旨

この度、あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ)では、「fの冒険 ～7人のアーティストによる平面表現の魅力～」展を開催します。

本展は平面というフィールドで、現在の新しい表現を発表し続けている若手作家に焦点をあてたグループ展です。子どもの頃から多くの人々が体験している「絵を描く」こと。最も基本的な美術表現のひとつといえるかもしれません。今回紹介する7人の作家はテーマも技法も素材も様々な方法で描いています。描くこととはなにか、表現することとはなにかということ“絵画”という概念にとどまらないものとして楽しんでいただければと思っています。

「fの冒険」の「f」に、flatな媒体を通じた、figure、freedom、fine、find、feel、fact、fun、future、fantasy、friendlyなど様々なfの要素を発見し、平面の多彩な表現を感じてください。

関連イベント

アーティスト・トーク

2021年1月16日(土) 午後3時～5時、伊丹市立美術館の学芸員 藤巻和恵さんをゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催します。

申込必要。定員15名。

詳しくはA-Labのホームページ、フェイスブックなどでもお知らせします。

ライブ・ドローイング

会期中、國久真有さんが会場でライブ・ドローイングを行います。

日程はA-Labのホームページ、フェイスブックなどでお知らせします。

【会期中の関連イベントに参加申込する場合】

※関連イベントはすべて参加費無料です。

申込み受付は12月5日(土)より開始。メールでA-Labへ。イベント当日は直接会場(A-Lab)へお越しください。お申し込みは下記メールアドレスまで氏名・年齢・電話番号・人数を明記ください。

あまらぶアートラボ(A-Lab)メールアドレス

amalove.a.lab@gmail.com

展覧会、関連イベントの詳細はあまらぶアートラボ(A-Lab)ホームページ(<http://www.ama-a-lab.com>)をご覧ください。

広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ(※14～18 ページ参照)をプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、あまらぶアートラボ「A-Lab」までお申し込みください。

使用条件：

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットをご表示ください。
- ・ トリミングはできるだけご遠慮ください。(23番は、トリミング禁止です。)
- ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

尼崎市文化振興担当(平日のみ) 担当：松長、金子松

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

あまらぶアートラボ「A-Lab」(火曜日休館) 担当：田中、八木

電話 06-7163-7108

作家略歴

■大八木 夏生（おおやぎ なつき）

1991年 生まれ。兵庫県出身。

2014年 京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース 卒業

2016年 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程版画領域 修了



【近年の主な展覧会】

2020年「より抜くオーバーラップの行方」、GALERIE LaPaix、愛知

2020年「格子模様と押し問答」、The Third Gallery Aya、大阪

2020年「ピンボケの影像」、神戸アートビレッジセンター、兵庫

2020年「VOCA展2020 現代美術の展望 -新しい平面の作家たち-」、上野の森美術館、東京

2019年「A Sidelight」、The Third Gallery Aya、大阪

2019年「RAKE UP!」、HOTEL ANTEROOM KYOTO | Gallery9.5、京都

2019年「Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展」、京都文化博物館、京都

2018年「Take Stock of the Situation」、The Third Gallery Aya、大阪

2017年「Figure Out」、京都精華大学学長室、京都

2016年「Pinch In, Pinch Out」、gallery make、京都

2016年「新進芸術家育成交流作品展」、茨城県つくば美術館、茨城

2016年「連鎖とまたたき」、京都精華大学 ギャラリーフロール、京都

2016年「Reproduction」、成安造形大学【キャンパスが美術館】、滋賀

2016年「トゥールビヨン part 2」、O ギャラリー eyes、大阪

【作品について】

道端で見つけた「何だ、これ」というものを撮影し、それらをモチーフに絵を描いています。例えばそれらは色褪せたプラスチックの塊です。写真を見ていると何故そのようなものを記録する行為に一步踏み出たのか、それらに何を見たのか、そのことについて知りたいという欲求に駆られます。写真を通し間接的に捉えることで現れる引っかかりがあるように、それらを描きシルクスクリーンを使ってイメージを形作っていく中で可視化されるものがあります。私の作品はそのような得体の知れないぼんやりしたものに対峙してみた過程の集積です。間接的な方法を取るからこそ無意識だったものが別の形となって浮かび上がり、新たに明らかになることがあるのではないかと考えています。

作家略歴

■ 國久 真有（くにひさ まゆ）

1983年 生まれ。大阪府出身。

2003年 University of the Arts London Central Saint Martins
Art and Design Foundation course 修了

2015年 神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学
専攻博士後期課程 満期終了



【受賞歴】

2019年 第22回岡本太郎現代芸術賞 特別賞

2018年 第47回現代芸術国際AU展 TIVOLI Award

2017年 UNKNOWN ASIA 審査員松尾良一賞、レビュアー中島麦賞、三村康仁賞

2010年 神戸芸術工科大学卒展「カオス」奨励賞

2008年 取手壁面プロジェクト 入選

2007年 神戸芸術工科大学セレンディップコンペティション グランプリ

【近年の主な展覧会】

2020年「RAW SUBSTRATUM」、神戸北野美術館、兵庫

2019年 下町芸術祭 2019、駒ヶ林、兵庫

2019年 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019、六甲山、兵庫

2019年「AQUA」、pavart rome、ローマ

2019年「MAGURE in MAAM」、MAAM museum、ローマ

2019年「La nascita di PAM」、MACRO ASLO、ローマ

2019年 第22回岡本太郎現代芸術賞展、川崎市岡本太郎美術館、神奈川

2018年「LIGHT LESSON」、GALLERY CLEF、岐阜

2018年「BEAT PER MINUTE」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2018年「IF ANYWHERE」、創治朗 -Contemporary Art Gallery-、兵庫

2018年 第47回現代芸術国際AU展、原田の森ギャラリー、兵庫

2017年「Hello! KUNIHISA」、KOBE STUDIO Y3、兵庫

【アートフェア】

2019年 ART OSAKA 2019 ホテルグランヴィア大阪 大阪

2018年 KOBE ART MARCHE 2018 KOBE MERIKEN PARK ORIENTAL HOTEL 兵庫

2017年 KOBE ART MARCHE 2017 KOBE MERIKEN PARK ORIENTAL HOTEL 兵庫

【パブリックコレクション】

Museo dell'、altro e dall'、altrove di Metropoliz、東大阪市立永和図書館

【作品について】

人体を軸にし腕のストロークと遠心力を利用し呼吸に従い描く手法を利用した wit-wit シリーズという絵画を制作している。

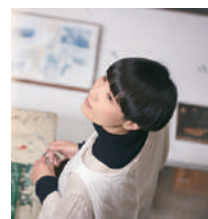
作家略歴

■鈴木 恵美（すずき えみ）

1984年 生まれ。静岡県出身。

【近年の主な展覧会】

2020年「十」、Gallery noir NOKTA、静岡
2020年「Lunam Hortus」、Gallery Laura、愛知
2020年「refrain」、Gallery haruji、千葉
2020年「Mythology」、LISETTE 鎌倉店、二子玉川店
2020年「Mist」、cafe du grace 921Gallery、岡山
2019年「Scenery」、RITMUS、佐賀
2019年「Circus」、Gallery NOKTA、静岡
2019年 Galleri Engholms Brændpunkt、Denmerk
2019年「Blanks」、proto 器とタカラモノ、東京
2019年「My Odd Friends」、DMOARTS、大阪
2019年「quiets」、hase、名古屋
2018年「fables」、LISETTE 鎌倉店、自由が丘店
2018年「Tak」、Gallery noir、静岡
2018年「bird」 Galleri Engholms Brændpunkt、Denmerk
2018年「silent」 cafe du grace 921gallery、岡山
2017年「夜更けの徒然と」、Gallery NOKTA、静岡
2017年「ヒヅメとくちばし」、cafe du grace 921Gallery、岡山
2017年「かたちのはなし」、hase、名古屋
2016年「旅の色合い」、Gallery NOKTA、静岡
2016年「青々」、cafe du grace、岡山
2016年「人々」、Gallery 分室、東京
2016年「冬の青い日」、Art Salon 金工堂、名古屋
2015年「まあるいねがいごと」、Gallery NOKTA、静岡
2015年「モンシロチョウの青い箱」、Gallery 分室、東京
2015年「日々、かんかん」、Shingoster LIVING、茨城
2014年「誰も知らない音楽会」、Gallery NOKTA、静岡
2014年「月を肴に音楽と…」、Bar & Food ten ten ten 初台店、東京
2014年「朱の実の生る日」、cafe du grace 921 Gallery、岡山
2014年「夜にささやく」、OPA Gallery、東京
2013年「かぜをゆする」、Gallery NOKTA、静岡
2012年「しろいナニカ 絵本原画展」、Gallery NOKTA、静岡
2012年「そとがわとうちがわのはなし」、iTohen、大阪
2011年「月の話」、ギャラリー NOKTA、静岡
2010年「と或る」、CHARTREUSE cafe、東京
2010年「red tables」、GALLERY BAR 556、東京



作家略歴

【常設展示】

- ・ 星野リゾート 界アンジン(静岡県伊東市)
- ・ Gallery noir/NOKTA(静岡県伊豆の国市)
- ・ proto(東京都蔵前)
- ・ signal(静岡県浜松市)
- ・ 自家焙煎珈琲屋花野子(静岡県沼津市)

【出版物】

- 「看護覚え書き」ミュリエル・スキート 著,装画
- 「看護覚え書き」フロレンス・ナイチンゲール 著,装画
- 「顔」木太聡,CDカバーアート「EVENA」椎名誠 著,装画
- 「ねずみ男の解説」装画
- 「九泉閣へようこそ」「獅子吼」浅田次郎 著(別冊文藝春秋)扉絵他

【作品について】

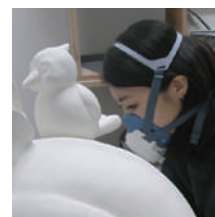
手漉きの楮紙(タイ産マルベリー紙)にアクリル絵具を何度も重ね,削りや剥がしを繰り返し、独特な質感の作品を制作。最近ではアクリル画以外に、再生紙、ソイワックス、土を使って環境保全や動物愛護をテーマにエシカルでサスティナブルな作品制作を試みている。

作家略歴

■住吉 明子（すみよし あきこ）

1981年 生まれ。千葉県出身。

2004年 文星芸術大学美術学部ビジュアルデザイン科 卒業



【受賞歴】

2006年 入選「For Rent2」

2008年 グランプリ受賞「第1回 article 賞」

【近年の主な展覧会】

2020年「水平線と紆余曲折（再）」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2018年「RE: FOCUS vol.3」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2017年「一凜— 日本橋三越美術市」、日本橋三越本店 本館 6階 美術フロア、東京

2016年「MITSUKOSHI ART CUBE」、日本橋三越本店 新館、東京

2016年「Artistic Christmas vol.X-MIRAI」、新宿高島屋、東京

2015年「冬の動物園 展」、パークホテル東京、東京

2014年「高島屋幻想博物館」、日本橋高島屋…他、各地

2014年「7TYPES×2 - 現代美術は今 -」、松坂屋名古屋店、愛知

2012年「～うつくしきもの～ミニアチュールの魅力展」、JR 大阪三越伊勢丹、大阪

2012年「The Osakan Dreams Vol.2」、JR 大阪三越伊勢丹、大阪

2012年「Artistic Christmas Vol.6…」、新宿高島屋、東京

2011年「サムシング・ライク・イット」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2011年「帰ってきたりったいぶつぶつ展」、Bunkamura Gallery、東京

2011年 行商「The Gallery Circus」、Spiral、東京

2011年「ウサギマミレ、マレニネコ」、Shinobazu Gallery、東京

2011年「BUA6.22」、文星芸術大学ギャラリー、栃木

2010年「Osaka Art Now」、HILLSIDE TERRACE A 棟ギャラリー、東京

2010年「2010 Summer 三越美術特選会」、日本橋三越、東京

2010年「現代美術 期待の新星 5人展 Vol.2」、松山三越、愛媛

2009年「ハロー・グッバイ・ハロー」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2009年「りったいぶつぶつ展」、Bunkamura Gallery、東京

2008年「白く森」、アトランティコギャラリー、東京

2008年「Japanese New Ages Contemporary」、TEZUKAYAMA GALLERY、大阪

2008年「Secret Auction」、Command N 主催、東京

2007年「或の日の庭」、Gallery Grand Cafe、東京

2006年「ZAIM OPENING FESTIVAL」、ZAIM 本館（旧関東財務局）/ 別館（旧労働基準局）、横浜

2005年「Zip Mind」、Design Festa Gallery、東京

2005年「Zip Mind / Gas」、Arcuate、東京

2005年「Central East Tokyo 05」、東京

作家略歴

【アートフェア】

2017年 ART OSAKA 2017、ホテルグランヴィア大阪、大阪
2012年 アートフェア東京 2012、東京国際フォーラム、東京
2012年 Art Show Busan 2012、BEXCO、韓国
2011年 ASIA TOP GALLERY HOTEL ART FAIR 2011、Mandarin Oriental、香港
2011年 ART TAIPEI 2011、台北世界貿易センター、台湾
2010年 アートフェア東京 2010、東京国際フォーラム、東京
2010年 アートフェア京都 2010、ホテルモントレ京都、京都
2010年 ART TAIPEI 2010、Taipei World Trade Center、台湾
2010年 Korea International Art Fair 2010、COEX、韓国
2009年 YOUNG ART TAIPEI 2009、Sunworld Dynasty Hotel、台湾
2009年 ART OSAKA 2009、堂島ホテル、大阪
2009年 Korea International Art Fair 2009、COEX、韓国
2008年 東京コンテンポラリーアートフェア、東京美術倶楽部、東京

【作品について】

すでに知っているもの、それによく似た知らないもの。動物のようであり植物のようでありまったく知らないものであり、日々、そして刻々と確実に変化しつつも（それが目に見えても見えなくとも）時間、空間、生物、生き物、全てが繋がっていてそれは考えずとも既にそこにあったもの。昨日食べたもので今日の体が出来ているように漕ぎ出した自転車が前に進むように、そしてこれからもそう（繋がっていくと）ということ。つまりそれはそういうこと。

作家略歴

■ 牧田 愛 (まきた あい)

1985 年 生まれ。千葉県出身。

2008 年 筑波大学芸術専門学群美術専攻洋画コース卒業

2013 年 東京藝術大学大学院芸術学専攻美術教育研究科修了

【受賞歴】

2017 年 ポーラ美術振興財団海外派遣助成

2015 年 第 18 回岡本太郎現代芸術賞

2015 年 千葉市芸術文化新人賞

2014 年 第 1 回テラダアートアワード

2013 年 東京藝術大学大学院修了作品展美術館買い上げ賞



【近年の主な展覧会】

2020 年 「Artifact」、日本橋三越本店、東京

2020 年 「This is now」、ANA インターコンチネンタル東京、東京

2020 年 「Art Cake Online Group Presentation」、Art Cake、ニューヨーク

2019 年 牧田愛個展「Forms」、ちばぎんひまわりギャラリー、東京

2019 年 「Assorted Chocolates」、ANA インターコンチネンタル東京、東京

2019 年 「Self-Portrait as Mirror, Mirror as Self-Portrait」、Artinformal Greenhills、マニラ

2018 年 「Reflect on 10 years - Ai Makita」、軽井沢ニューアートミュージアム、長野

2018 年 「Shuttlecock」、ANA インターコンチネンタル東京、東京

2018 年 「無明と可視」、ポーラミュージアム アネックス、東京

2017 年 「Works in New York」、スパイラル、東京

2017 年 「Moving」、市民ギャラリーいなげ、千葉

2017 年 「Gradation」、Gallery Vask、マニラ

2017 年 「Silos」、ART3 Gallery、ニューヨーク

2017 年 「In Organic: Emerging Japanese Artist in New York」、在ニューヨーク日本総領事館、ニューヨーク

2016 年 「クロニクル、クロニクル!」、Creative Center Osaka、大阪

2015 年 「Behave As a Named Existence」、Roentgenwerke AG、東京

2015 年 「Speak Soft, Listen Hard」、Gallery Underground、マニラ

2015 年 「濫觴 巧術 chapter VI」、スパイラル、東京

2015 年 「創造海岸いなげ」、市民ギャラリーいなげ、千葉

2015 年 「第 18 回岡本太郎現代芸術賞」、川崎市岡本太郎美術館、神奈川

2014 年 「三越 × 藝大」、日本橋三越、東京

2014 年 「縹渺 巧術 chapter V」、スパイラル、東京

2014 年 「未来展 - 美大の競演」、日動画廊、東京

2014 年 「第 1 回テラダアートアワード」、T-Art Gallery、東京

作家略歴

2013年「13・17」、Ai Kowada Gallery、東京
2013年「SIGNS OF LIFE」、伊勢丹新宿、東京
2013年「韜晦 巧術 chapter IV」、スパイラル、東京
2012年「Jewels」、画廊くにまつ、東京
2012年「Art Award Next 2012」、東京アート倶楽部、東京
2012年「C-DEPOT 2012 Tokyo-Yokohama」、横浜赤レンガ倉庫、神奈川
2011年「nine colors」、西武渋谷、東京

【レジデンス】

2020年 Art Cake, ニューヨーク
2019年 Varda Artist in Residency, サウサリート
2018年 Varda Artist in Residency, サウサリート
2017年 Residency Unlimited, ニューヨーク

【アートフェア】

2019年 Taipei Dangdai, 台北南港展覽館、台北
2018年 Art Miami, One Herald Plaza, マイアミ
2018年 アートフェア東京 2018, 東京国際フォーラム、東京
2017年 Art Taipei 2017, Taipei World Trade Center, 台北
2016年 Art Taipei 2016, Taipei World Trade Center, 台北
2015年 Infinity Japan Contemporary Art Show, 新興三越, 台中
2014年 アート名古屋 2014, ウェスティンホテル名古屋, 名古屋
2013年 アートフェア東京 2013, 東京国際フォーラム, 東京
2012年 アートフェア東京 2012, 東京国際フォーラム, 東京
2012年 Art Taipei 2012, Taipei World Trade Center, 台北
2011年 アート京都 2011, ホテルモントレ京都, 京都

【パブリックコレクション】

東京藝術大学大学美術館
高橋コレクション

【作品について】

機械や金属類、プラスチックなどの人工物をモチーフに構成し、緻密に描かれた絵画と空間のインスタレーションで作品表現をしている。無機的なモチーフで有機的なイメージを創造し、人工と自然、二次元と三次元の境界はどこにあるかなどをコンセプトに発表し続けてきた。2013年に東京藝術大学で修士号を取得し、卒業制作は大学美術館の買い上げとなった。2017年に初めてニューヨークにて滞在制作をおこなった際、在ニューヨーク日本総領事館での展覧会の参加アーティストに選ばれ、2ヶ月のあいだ作品が展示された。以来、東京とニューヨークを活動の拠点に精力的に展示発表を行っている。

作家略歴

■ 本山 ゆかり (もとやま ゆかり)

1992年 生まれ。愛知県出身。
2017年 京都市立芸術大学大学院油画専攻修了。



【近年の主な展覧会】

2019年 「その出入り口 (穴や崖)」、Yutaka Kikutake Gallery、東京
2019年 「称号のはなし」、FINCH ARTS、京都
2017年 「この現実のむこうに Here and beyond」、国際芸術センター青森、青森
2017年 「裏声で歌へ」、小山市立車屋美術館、栃木

【作品について】

絵画を構成している要素を分解しながら、絵画をつくる / 鑑賞するとき起きる出来事をつぶさに見つめる作業をしている。それぞれの要素・出来事に向き合うための仕組みやルールを整え、制作を行う。

作家略歴

■薬師川 千晴（やくしがわ ちはる）

1989年 生まれ。滋賀県出身。

2011年 京都精華大学 芸術学部 造形学科 洋画コース卒業

2013年 京都精華大学院 芸術研究科博士前期課程 芸術専攻修了



【受賞歴】

2010年 京展 芝田記念賞受賞

2019年 滋賀県次世代文化賞受賞

【近年の主な展覧会】

2020年「ゲシュタルトの祈り」、2kw Gallery、滋賀

2020年「解体とアプローチ 田中真吾 × 薬師川千晴 展」、東近江八日市文化芸術会館、滋賀

2019年「Yakushigawa Chiharu solo Exhibition」、京阪百貨店守口ロナイロフロールナナイロギャラリー、大阪

2018年「Yakushigawa Chiharu solo Exhibition」、画廊くにまつ青山、東京

2018年「Yakushigawa Chiharu solo Exhibition」、京都精華大学 7-23 ギャラリー、京都

2018年「右手と左手のドロイング」、京都信用金庫本店ロビー、京都

2018年「RAUM KOMP うごく空間、そこにある音」、大阪海岸通りギャラリー CASO、大阪

2018年「retrace a pair 一対をなぞる」、Gallery PARC、京都

2018年「散光 / サーキュレーション」、滋賀県立近代美術館企画展、滋賀

2015年「絵画へ捧げる引力」、Gallery PARC、京都

2015年「ハイパートニックエイジ」、京都芸術センター、京都

2015年「KYOTO CURRENT2015」、京都市美術館別館、京都

2014年「絵画碑」、Gallery PARC、京都

2014年「KYOTO CURRENT2014」、京都市美術館別館、京都

2013年「科学のあとに詩をかくこと」、Gallery16、京都

2012年「主張展」、Gallery ARTISLONG、京都

2012年「懐」、常懐荘 旧竹内邸、愛知

2012年「視域」、京都精華大学 7-23Gallery、京都

2011年「Leave Color - 視覚と知覚 -」、Gallery FLEUR、京都

2010年「京展」、京都市美術館、京都

【作品について】

紙に一つの点を描いてみる。そしてその隣にもう一つの点を描く。

すると二つの点には色の濃さや大きさの“差異”が生まれ、同時に2つの点の間にある空間は、お互いへの“距離”となる。私はこの、点と点、個と個、あちらとこちらから成る“一対”の関係性に魅力を感じて制作しています。

参考図版



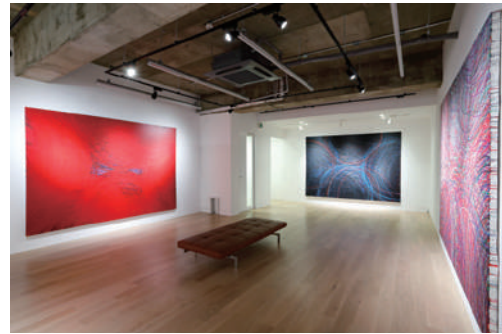
1



2



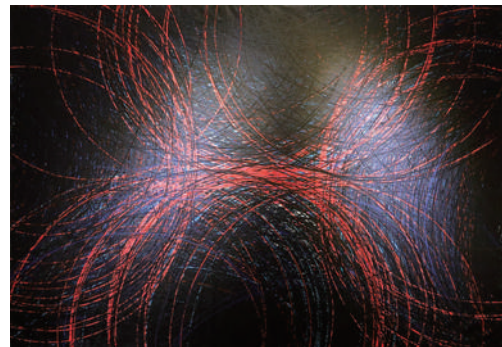
3



4

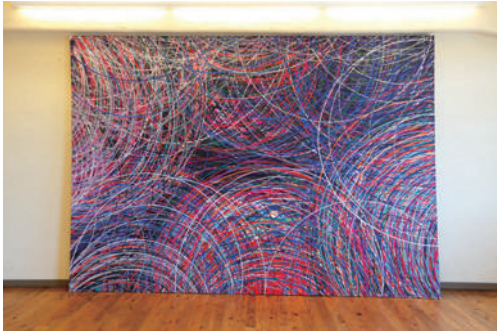


5



6

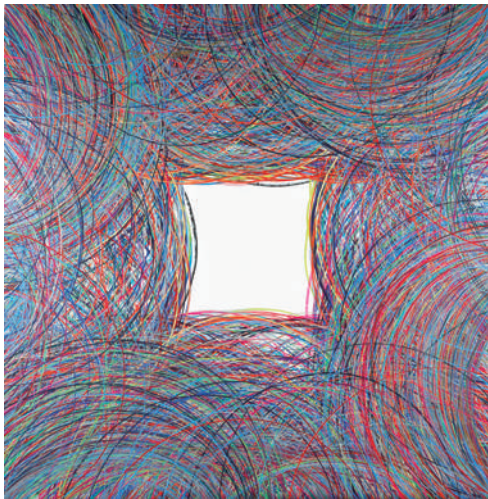
参考図版



7



8



9



10



11



12

参考図版



13



14



15



16



17



18

参考図版



19



20



21



22

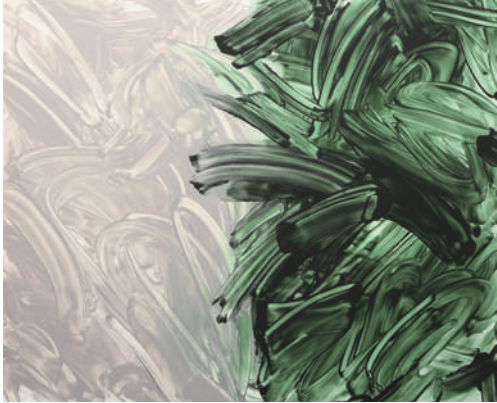


23



24

参考図版



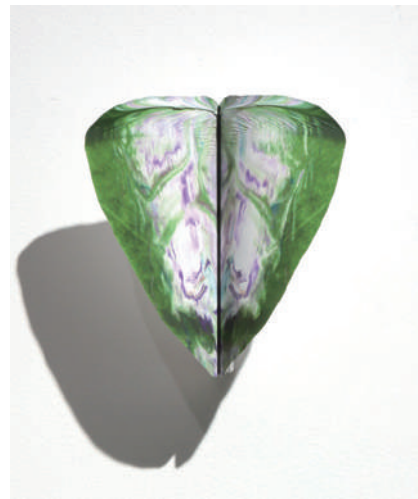
25



26



27



28



29

参考図版

1. 大八木夏生 | 『ミナエン No.1』 | 2020
2. 大八木夏生 | 『格子模様と押し問答』 | 2020
3. 國久真有 | 『BPM』 | 2019
4. 國久真有 | 『EXHIBITION VIEW TEZUKAYAMAGALLERY 大阪』 | 2018
5. 國久真有 | 『EXHIBITION VIEW 神戸北野美術館 兵庫』 | 2020
6. 國久真有 | 『WIT-WIT BLACK RED』 | 2020
7. 國久真有 | 『WIT-WIT LIGHT』 | 2015
8. 國久真有 | 『WIT-WIT RED』 | 2018
9. 國久真有 | 『SILVER SPRING』 | 2019
10. 鈴木恵美 | 『Azul』 | 2020
11. 鈴木恵美 | 『Blau』 | 2020
12. 鈴木恵美 | 『「+」#005』 | 2020
13. 鈴木恵美 | 『「+」#012』 | 2020
14. 鈴木恵美 | 『「+」#013』 | 2020
15. 鈴木恵美 | 『「+」#014』 | 2020
16. 鈴木恵美 | 『Schatten』 | 2019
17. 住吉明子 | 『ボタニカルヤギー / botanical goat』 | 2018
18. 住吉明子 | 『天気の良い日 / Sunny day』 | 2017
19. 住吉明子 | 『Growing in the snow』 | 2017
20. 住吉明子 | 『fugu』 | 2020
21. 牧田愛 | 『Augmented Reality』 | 2020
22. 牧田愛 | 『Artifact [Artificial brain](6点シリーズ)』 | 2020
23. 本山ゆかり | 『画用紙(大きい石)』 | 2019
24. 薬師川千晴 | 『好一對の絵 #トリスタンとイゾルデ』 | 2020
25. 薬師川千晴 | 『右手と左手の絵画 #11』 | 2020
26. 薬師川千晴 | 『右手と左手のドローイング』 | 2018
27. 薬師川千晴 | 『絵具の引力 #7』 | 2015
28. 薬師川千晴 | 『絵具の引力 #12』 | 2015
29. 薬師川千晴 | 『絵具の引力 #15』 | 2015